

光触媒上の反応する場所を造り分ける

私は某大学で、ビタミン B₁₂ 人工酵素（國武豊喜先生が発見したことで有名な人工二分子膜誘導体と私が開発した疎水性ビタミン B₁₂ によって構成されています。）の研究で学位を取り、すぐに出身研究室で大学教員となりました。その際、分子認識化合物の研究開発に路線変更しました。それから、4 年後・・・有機化学中心の研究領域から大きく転換し、そうそうたる先生方が、世界最先端の研究を推進されている光触媒の研究分野へ更なる転身を図って、はや二十有余年が過ぎようとしています。・・・